

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

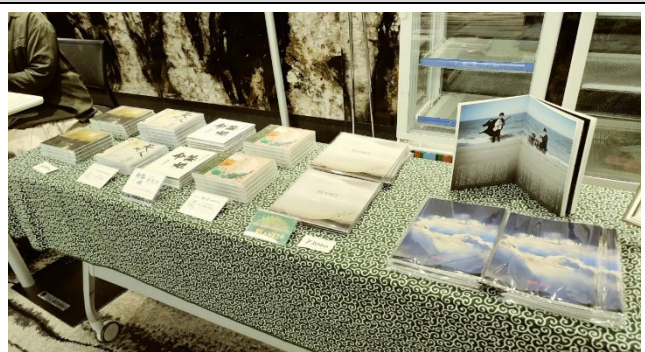
グループ名	東日本大震災「祈り」実行委員会
支援対象者・エリア	対象者：被災者及び支援して下さる方々 エリア：岩手県・宮城県・福島県・山形県・秋田県・青森県
企画開催地	東京都
企画名称	東北復興魂！ PLANET Soul&Beat TEN-CHI-JIN コンサート
実施期間	2022年3月11日(金) 参加者 約300名うち189名がオンライン参加

支援活動の目的・内容・感想 (どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)
<p>◇目的</p> <p>Soul&amp;Beat TEN-CHI-JIN は、当委員会の発起人で自らのスタジオなども被災したことから、被災地のメッセンジャーとして、復興に向けてのコンサートを国内外で実施しております。</p> <p>昨年、全国の支援者にお礼と忘れないを伝えるツアーを実施し、今回は東京の支援者を中心に、活動報告とTEN-CHI-JINの復興の音「デジタル三味線音楽」を完成させたことを発表しました。当日は平日で、まん延防止等重点措置期間中でもあり、会場は人数制限や終了時間制限があった事から、コンサートの模様はオンライン配信も実施し、見逃し配信を3月20日迄とし多くの方にご参加頂きました。</p> <p>震災後の数年間、私たちは東北の音である「津軽三味線」で地元民謡などを取り入れ、被災者に寄り添う演奏を行ってきました。しかし年が経つにつれ、心を癒す為の更なるエネルギーが求められ、TEN-CHI-JINの音も進化してきました。町は綺麗に整備され、人々は新しい家で過ごすようになりましたが、街に活気がなく元気もないと言います。辛い時に共有した人との繋がりは、11年の歳月で希薄になり、コロナ禍による自粛生活は孤立に拍車をかけました。現実を受け止めるようになった今こそ心の復興が必要で、支援者の皆様には現地へ出向いて頂く事が支えあう事とお話いたしました。ラスト曲の復興応援曲「雲漢」は、何色もあるコスチュームの雲漢シャツの中からメンバーのHIROが黄色、JIROが青色のシャツを着用、司会の文ちゃんから「私たちは、避けられない震災でたくさんの瓦礫を見てきました。とMCが始まり、会場の皆さんからは掛け声の代わりに音楽に合わせて右手を上げ、エールを送り、コンサートは終了しました。お帰りの際には皆さんに、書家の金澤祥子さんが揮毫した「感謝」のポストカードをプレゼントしました。</p> <p>◇感想</p> <p>私たちと変わりなく支援を続けて下さった方々の尊いお気持ちは、一時的なものではなく日本人がもつ温かい心が復興魂となっていることを実感いたしました</p>

活動の様子（写真など）



会場の模様



ロビー：物品販売



ロビー：金澤祥子氏揮毫「共に生きる」展示



会場入り口看板



演奏の模様